



茅ヶ崎市立病院 QRコード



「市立病院通信」は、読みやすい文字（ユニバーサルデザインフォント）と地球にやさしい植物油インキを使用しています。

市立病院 通信

平成31年3月15日 発行 第2号

本院の取り組みや健康に関する様々な情報をお知らせします

医療のプロが多角的に患者さんをサポート！

糖尿病の チーム医療とは？



成人の5人に1人は糖尿病または予備軍とされる現代。茅ヶ崎市立病院では、医師や看護師、管理栄養士、薬剤師などが連携し、各職種の専門性を発揮したチームによる糖尿病治療に取り組んでいます。

糖尿病とは？ 血液中の糖分が慢性的に高い状態が続き、それによって生じる全身的な病気

原因 インスリンというホルモンの量や作用の不足

病態 インスリンが枯渇した1型と、量は様々だが効きが悪い2型がある

初期症状 体重減少、喉の渇き、頻尿、手足のしびれ、疲れやすいなど

早期発見のため、早めに受診を！

糖尿病患者数は約1,000万人

厚生労働省の平成28年国民健康・栄養調査では、糖尿病患者数は約1,000万人、糖尿病予備軍も含めると約2,000万人と推定され、年々増加傾向にあります。糖尿病で怖いのは、自覚症状がないまま合併症を併発することです。重症化すると、患者さんが受ける不利益も大きく、医療費も高額になります。そのため、早期発見と早期治療、合併症の予防が重要です。

多職種が連携し、相乗効果を生み出すチーム医療

糖尿病治療の根幹は食事療法と運動療法で、必要に応じて薬物療法を行い、血糖をコントロールします。自己管理が何より大事で、患者さん自身が自分を治療する主治医と言っても過言ではありません。

代謝内分泌内科では、「24時間連続的血糖測定」や、皮下に24時間インスリンを注入する「インスリンポンプ療法」など最新医療も導入し、糖尿病専門医、高度な知識と経験のある看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師がチームを組み、それぞれの立場から患者さんを多角的にサポートする、チーム医療を実践しています。

医師を中心に治療方針を決め、臨床検査技師が検査数値を分析し、食事療法は管理栄養士が、運動療法は理学療法士が、薬物療法は薬剤師が指導し、看護師は患者さんが生活の中にうまく治療を取り入れる工夫を共に考え、支援します。多職種が連携することで、治療の相乗効果を高めます。

透析予防、妊婦・高齢患者さんへの取り組み

6年前から、糖尿病透析予防にチームで取り組んでいます。実際、透析予防指導を行った患者さんは、腎機能の低下速度を抑えられるなど、成果が出ています。また、妊婦さんの場合は、妊娠のステージにあった食事療法や分食を指導し、緻密に血糖管理を行います。

近年は、認知症を抱えた高齢の患者さんも増えています。患者さんやご家族にとって、できるだけシンプルでやさしい治療を選択し、筋力低下と症状の進展防止に努めています。

各職種が知恵を出し合い、チーム一丸となってサポートしています。



開業医と連携した、2人主治医制 ～糖尿病の地域連携～

茅ヶ崎市では、本院を含む5病院と医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会がタッグを組み、保健所を核とした「糖尿病地域連携クリティカルパス推進会議」を組織しています。地域内での医療の均一化を目指し、各医療機関の連携体制が整っています。

代謝内分泌内科では、ご紹介いただいた患者さんの症状が安定したら、また紹介元の開業医で診ていただき、半年か1年に1回は外来で定期的に診察を行っています。双方の医師が協力して診療にあたり、患者さんにとっては主治医が2人いることとなります。

受診の際、患者さんが携帯する「糖尿病連携手帳」と「お薬手帳」により、2人の主治医が情報を共有し、患者さんも安心して治療を続けていただけます。今後も地域連携を深め、役割を分担しながら、糖尿病治療に取り組んでいきます。

糖尿病チーム医療スタッフから一言

●代謝内分泌内科 科部長 **佐藤 忍** 医師



糖尿病を予防することが日常生活を快適にし、寿命を延ばすことにもつながります。本院では、チーム医療に携わる糖尿病の専門医、高い専門的知識と豊富な経験を兼ね備えた看護師や管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師が講師となり、市民向けの「講演会」や「予防イベント」、「栄養教室」、患者さん向けの「糖尿病教室」を行っています。糖尿病の知識を普及することで、予防と重症化リスクの低減に取り組んでいます。

●看護師主査 **大山 路葉**



看護師は患者さんが一番近い存在なので、信頼関係を築くことを大事にしています。看護面談では患者さんの話をよく聴き、時には待ち、患者さん自身の力を信じ、具体的なアドバイスをしています。糖尿病治療は連携が功を奏するので、良い連携ができるよう、常にアンテナを張っています。また、合併症による足のトラブル対策として、看護師による「フットケア教室」を始めました。足のケアについて、実演を交えて説明しています。

●栄養科長 **井堀 園美**



血糖値を安定させるための食事療法を担当しています。病棟や外来の患者さんへは、日頃のお食事や不安な点など、ご家族も一緒にお話をさせていただき、栄養指導という形で食生活や生活習慣の改善に結びつけています。これはダメと言うのではなく、できることを継続していくことが大切です。また、市民向けの「講演会」や「栄養教室」では、巷の健康ブームのことや、様々な角度から栄養や食事についてご紹介しています。

●主任薬剤師 **伊藤 篤志**



運動療法、食事療法に加え、薬物療法が必要になった患者さんへ服薬指導を行っています。内服薬やインスリンという注射の効果や副作用について、できるだけ噛み砕いて説明するように心がけています。患者さんによって病態は多様なため、他の医療機関との薬の重複がないか、悪い飲み合わせがないかなども確認します。薬について知ること、患者さん自身が治療目的を把握し、安心して治療に臨めるようサポートしています。

胃と大腸の話 ～内視鏡治療～

市立病院では、市民のみなさんの健康増進、病気予防などを目的として、公共施設などで「出張講座」を開催しています。定期的に行われるこの講座では、身近なテーマについて専門医が詳しく解説し、市民のみなさんに好評です。講座内容と講師を務めた医師を紹介します。



胃と大腸の検査で、こんな誤解をしていませんか？

バリウムの検査で問題がなかったから、胃がんはない？

バリウムを飲む胃のX線検査で問題がなくても、胃カメラによる内視鏡検査で胃がんが見つかるケースもあります。直接胃の中を目で確認する胃カメラ検査は、X線検査に比べ精度が高く、早期がんのような微細な病変をも発見する確率が高いからです。X線検査の結果で安心せず、胃の不調を感じたら、胃カメラ検査を受けることをおすすめします。

便潜血検査の結果、2回のうち1回は陰性だったから大丈夫？

大腸ガンを診断する検査のひとつとして、便潜血2回法があります。便潜血検査の結果が1回でも陽性だったら、そのままにせず、大腸カメラによる内視鏡検査を受けてください。陽性の場合は何らかの疾患がある可能性が高く、逆に陰性でも、大腸カメラで腸内を詳細に観察すると、がんが発見されるケースもあります。

早期発見が内視鏡治療のカギ

内視鏡検査は早期がんの発見に有効で、早期のがんであれば内視鏡治療が可能です。胃カメラや大腸カメラの内視鏡検査は辛いと思われる方も多いかもしれませんが、内視鏡技術の進歩は目覚ましく、患者さんの辛さはだいぶ軽減されています。胃カメラ検査にかかる時間はだいたい10分前後、大腸カメラ検査の場合は、個人差はありますが、早い人で15分前後です。現在は鎮静剤を使った日帰り内視鏡検査もあります。内視鏡治療は、お腹にメスを入れる外科手術に比べ、患者さんの体への負担が少なく、術後の回復が早いのが特徴です(症例によっては、内視鏡治療が適応とならない方もいます)。胃や大腸で気になる症状があれば早めに受診し、早期発見、早期治療を心がけてください。

胃カメラ検査でわかる病気

- 胃がん
- 食道がん
- 胃炎
- 逆流性食道炎
- 胃潰瘍
- 食道裂孔ヘルニア
- 胃ポリープ
- 十二指腸潰瘍
- 消化管間質腫瘍

大腸カメラ検査でわかる病気

- 大腸がん
- 大腸ポリープ
- 大腸憩室
- 潰瘍性大腸炎



内視鏡治療ができる病気

- 早期胃がん
- 早期食道がん
- 早期大腸がん
- 良性のポリープ切除
- 食道および胃内異物の摘出
- 胃・十二指腸潰瘍などの消化管出血に対する止血



| 今 | 回 | の | 講 | 師 |



消化器内科 副科部長 内視鏡室長 **栗山 仁** 医師

消化器内科では、消化管疾患、肝疾患、胆膵などの消化器疾患を中心に診療を行っています。最新のハイビジョンCCDカメラ搭載の内視鏡、拡大内視鏡、超音波内視鏡を備え、積極的に内視鏡治療にも取り組んでいます。日本消化器内視鏡学会の専門医をはじめ、幅広い知識や専門的スキルを持つ看護師を多く擁し、患者さんが少しでも楽に安全に内視鏡の検査や治療を受けられるよう、日々努力を重ねています。来年には、超音波室なども備えた内視鏡センターが本院に新設され、治療の拡充を図っていく予定です。今後も患者さんに寄り添い、最良の治療を選択していきます。また、年々患者数が増えている潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患に対しては、女性の専門医が診療にあたっています。受診方法については、下記医事課までお問い合わせください。

経験豊富な内視鏡専門医と看護師がサポート

出張講演会を開催

市立病院の医師・医療スタッフが出張して、講演会を行います。費用は無料です。

次回の出張講演会

リウマチ膠原病内科 科部長の上原医師がリウマチについて解説します。
日 時/3月22日(金) 午後2時～3時30分
場 所/茅ヶ崎公園体験学習センター

詳細は市立病院医事課
☎0467-52-1111に
お問い合わせください。



人間ドック受診のご案内

1年に1度の健康チェックで、健やかな毎日を

茅ヶ崎市立病院では、健康管理センターで快適に人間ドックを受診していただけます。半日で、効率的に各種検査を行っていただけますので、日頃お忙しい方にもおすすめです。午前中に検査と診察を行い、検査終了後、7階レストランで昼食をご用意しております。午後に、医師による結果説明と健康指導を行います。2次健診が必要な場合も、本院の診療科の予約をお取りしますので、ご安心ください。後日、検査報告書を送付いたします。人間ドックは、詳細な検査をするAコース、検査項目を厳選したBコースの2コースあります。さらに、充実したオプション検査もお選びいただけます。病気の予防や早期発見、継続した健康管理にお役立てください。

実施日…月・火・金曜日(祝日、年末年始を除く) ※受診希望日の2週間前までにお申し込みください。
お申し込み・お問い合わせ
○茅ヶ崎市立病院 健康管理センター ☎0467-52-1566 (直通)

ご利用料金

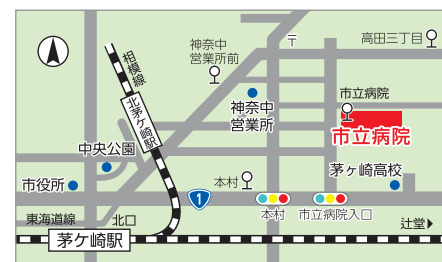
(税込)

内 容	ご利用料金
人間ドックAコース	48,600円
人間ドックBコース	37,800円
頭部MR検査	38,880円
婦人科系検査(女性のみ)★1	2,160円
HPV検査(★1を受診された方のみ)	1,700円
外科系検査(女性のみ)★2	3,240円
オプシ ョ ン トモシンセシス検査(★2を受診された方のみ)	6,480円
骨密度測定検査	860円
腫瘍マーカー検査	4,320円
C型肝炎検査*	1,290円
PSA(前立腺)検査(男性のみ)*	1,720円
H・ピロリ菌抗体検査	1,620円
エイズ検査	1,400円
梅毒検査*	500円

*はAコースの基本項目に含まれています。オプションのみの受診はできません。

■ 紹介状をお持ちください

他の医療機関からの紹介状を持たずに市立病院を受診する場合は、通常の初診料のほかに選定療養費として5,400円(税込)をご負担いただきます。初期の医療は患者さんの身近にある診療所が担い、診療所が対応できない医療は地域の基幹病院が担うという医療機関の機能分担の推進を目的として、市立病院など400床以上の地域医療支援病院で徴収が義務づけられています。



茅ヶ崎市立病院 ☎0467-52-1111

◇受付時間 = 午前8時30分～11時
◇診療時間 = 午前9時～午後5時
◇休診日 = 土・日曜日、祝日、年末年始